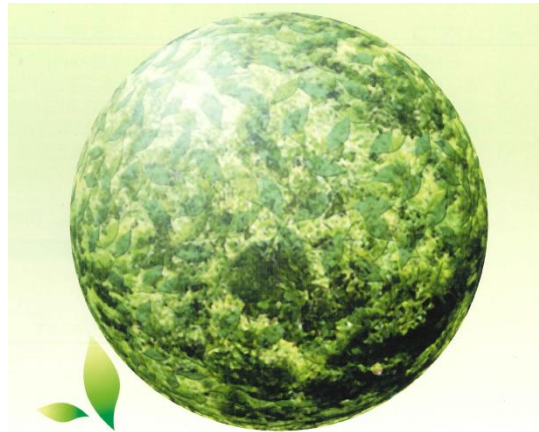


エコアクション 21

環境経営レポート



Nikkin
日金建設株式会社



令和 6 年度

対象期間 令和 6 年3月～令和 7 年2月

日金建設株式会社

令和 7 年 4 月 30 日 発行

目 次	1
1.事業概要	2
2.対象範囲	3
3.環境経営方針.....	4
4.環境経営目標.....	5
5.環境経営計画.....	6
6.環境経営目標の実績.....	7
7.環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容	8
8.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟の有無	9
9.代表者による全体評価と見直し.....	9

1.事業概要

(1) 事業者名及び代表者

日金建設株式会社
代表取締役 山本 一博

(2) 所在地

本社 〒808-0021
福岡県北九州市若松区響町 1-50

(3) 事業内容

- ・資本金 3000 万円
- ・設立年月日 昭和 43 年 3 月 1 日
- ・総合建設業 土木・とび土工・浚渫・舗装・水道施設・解体工事
建設業許可 :福岡県知事許可 特-6 第 22776 号
汚水・排水処理施設の付帯施設の新設、補修工事業務、
高度処理製品及びサービスの販売

連絡先

EA-21 責任者 代表取締役 : 山本 一博
EA-21 事務局 総務部 : 矢野 恵美子

連絡担当者:矢野恵美子
TEL:093-771-2281
FAX:093-771-2242
E-mail:koujibu@nikkin.net

(4) 事業規模(事業年度 10 月から 9 月)

活動規模	単位	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
工事等の件数	件	35	37	34
売上高	百万円	246	374	498
従業員数	人	10	10	10
事務所床面積	m ²	170	170	170
倉庫床面積	m ²	80	80	80
資機材置場面積	m ²	100	100	100
工場・作業場床面積	m ²	70	70	70

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

・対象範囲(認証・登録範囲)…全組織・全活動

組織

本社事務所・作業場・資機材置場

事業活動

総合建設業(建設工事業、土木工事業)、

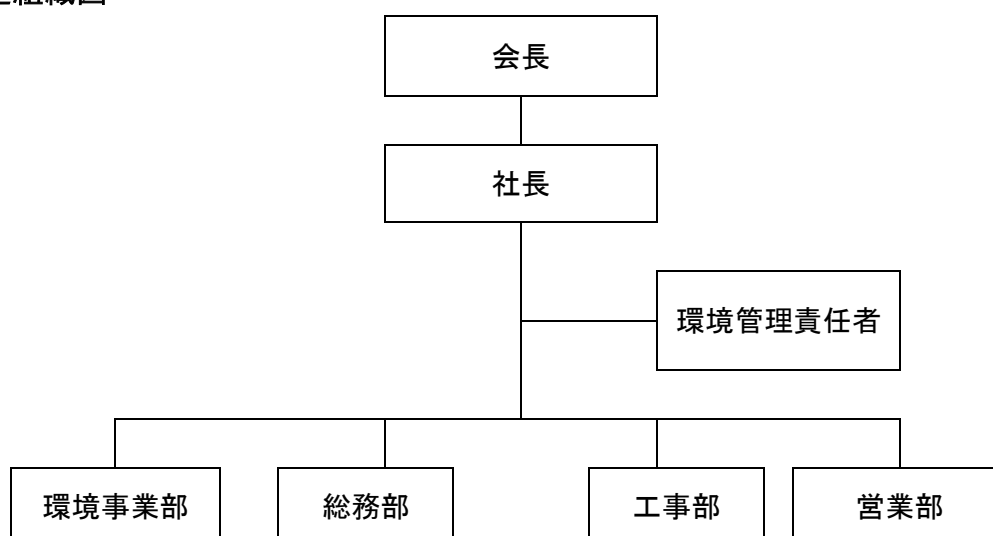
汚水・排水処理施設の付帯施設の新設、補修工事業務、高度処理製品及びサービスの販売

・レポートの対象期間及び発行日

対象期間 令和6年3月～令和7年2月

発行日 令和6年4月30日

・推進組織図



・役割分担表

氏名	役職	役割
菅坂 弘之 山本 一博	会長	全体の総括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
	代表取締役	
矢野 恵美子	環境管理責任者	環境経営システムを構築し、運用する
	EA21 事務局	EA21 文書及び記録類の作成・維持・管理
工事担当	工事部	EA21 の遂行管理に当たる
営業担当	営業部	
環境事業担当	環境事業部	

3.環境経営方針

環 境 経 営 方 針

日金建設株式会社は、土木構造物の施工に関する事業において、「地球環境の保全」と「地域社会との調和・共存」の一翼を担うことを認識し、住みよい地球環境と快適で豊かな社会を築き次世代に残すため、以下の行動指針に基づき、持続可能な低炭素社会への構築へ向けて環境活動を推進します。

1. 日金建設株式会社は、技術的・経済的に可能な範囲で、環境目的・目標を定め、実行し、見直しを行うことにより、継続的改善を図るとともに環境汚染の予防に努めます。
2. 日金建設株式会社は、環境に関する法規制、および当社が同意する協定等の要求事項を遵守し次の項目を重点的に取り組みます。
 - ① 電力、燃料の消費量の削減推進
 - ② 廃棄物の削減、リサイクル化の推進
 - ③ 水資源の節水
 - ④ 環境に配慮した施工
 - ⑤ 地域社会への貢献、自然との調和
3. 日金建設株式会社は、全社員に環境方針を周知するとともに、社外一般に公開します。

改定日：令和 3年11月 8日

改定日：令和 3年 5月25日

改定日：令和 2年 3月 5日

改定日：平成30年 7月11日

制定日：平成29年 3月 1日

日 金 建 設 株 式 会 社

代表取締役 山本 一博

4.環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果により以下のような目標を設定致しました。

なお、目標設定基準は令和4年度のデータを使用しております。

目標・活動項目(単位)	R4 年度 基準値	R5 年度	R6 年度	R7 年度
1.電気使用量の削減 (kWh)	12,646	12,583 0.5%削減	12,520 1.0%削減	12,456 1.5%削減
2.軽油使用料の削減 (L)	63,765	63,446 0.5%削減	63,127 1.0%削減	62,809 1.5%削減
3.建設廃棄物のリサイクル率 向上	98.5	98.5 以上	98.5 以上	98.5 以上
4.水使用量の削減 (m3)	42	41.79 0.5%削減	41.58 1.0%削減	41.37 1.5%削減
5.低騒音・低振動型工事 機械使用率(%)	82	82 以上	82 以上	82 以上
6.環境保全活動の実施				
①教育訓練の実施(回)	12	6 以上	6 以上	6 以上
②安全パトロール(回)	12	12 以上	12 以上	12 以上

化学物質は使用していないので、目標に取り上げない

5.環境経営計画

No.	環 境 経 営 目 標	実 施 項 目	実施部門 責任者
1	電気使用量の削減 (CO2 の削減) 電力使用量	①未使用時の OA 機器・電気消灯の徹底 ②空調温度管理の徹底 (夏季 25℃・冬季 22℃設定) ③昼休みの消灯 ④フィルターの清掃	矢野 恵美子
2	燃料使用量の削減 (CO2 の削減)	①アイドリングストップの徹底 ②車両の燃料使用量のチェック	矢野 恵美子
3	建設廃棄物のリサイクル率向上	① 建設廃棄物の分別の徹底 ② 残余資材のリユース、リサイクルの推進 ③ 管理票による適正処理 (排出量把握による率管理)	工事担当者
4	廃棄物排出量の削減 廃棄物量	①廃棄物の分別の徹底。 ②リユース、リサイクル推進活動の展開。 ③コピー用紙の削減	矢野 恵美子
5	水資源使用量の削減	①節水シール等の表示 ②漏洩の点検	矢野 恵美子
6	低騒音・低振動型工事機械 使用率の向上	①低騒音・低振動型機械の使用 ②方法及び工法の調査・検討 ③作業工程の工夫等、影響の最小限化	工事担当者
7	環境保全取組実施率の向上	①社内定例会議時での教育訓練の実施 ②安全パトロールの実施 ③毎年取り組み状況チェック	矢野 恵美子

6.環境経営目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下のとおりです。(令和 6/3～令和 7/2)

目標・活動項目(単位)	期間目標	期間実績	目標達成率
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)		164,078	
1.電気使用量の削減(kWh)	12,520	13,142	95%
2. 軽油使用量の削減(L)	63,127	52,585	120%
3. 建設廃棄物のリサイクル率向上	98.5%	99.9%	100%
4. 水資源使用量の削減(m ³)	42	91.0	46%
5.低騒音・低振動型工事機械使用率維持	使用率:82.0%	使用率:88.0%	107%
6. 環境保全活動の実施			
① 教育訓練の実施	6 回	7 回	116%
② 安全パトロール	12 回	12 回	100%

二酸化炭素排出係数は九州電力の令和 2 年度の実排出係数 0.370kg-CO₂/kWh を使用

(1) 電気使用量の削減

今期は年間を通じて寒暖差が大きく空調機を稼働させることが多かったです。今後はこまめに温度管理をし成果が出るようにしていきたい。

(2) 軽油使用量の削減

船の稼働により軽油使用箇所が増え、年間未達の可能性が予想されたが、良好な結果となった。

(3) 建設廃棄物量のリサイクル率向上

現場での分別のみならずリサイクル不適物化しない様な工法を実践し、今後も取り組みを継続いたします。

(4) 水資源使用量の削減

今期も、現場で使用する機会があり増えているが、以前よりも事務所にいる人数が増えているのも原因のひとつであります。各自が節水を心がけるようにしていきたい。

(5) 低騒音・低振動型工事機械使用率の向上

各現場で低騒音型機種を積極使用し、目標達成しているが、顧客要求事項との両立と、受注件数の推移を考慮すればこれ以上の近々での目標設定向上は現実離れを起こすと思われるので、今後は現状維持の目標継続を行う予定です。

(6) 現場パトロールによる環境保全活動状況の確認

計画通りの実施、安全パトロールにて環境保全状況の確認を行っています。

7.環境経営目標及び計画の取組結果とその評価 並びに

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

■ 環境活動の取組に対する評価

E A-21 環境改善取組みも通常の事となり従業員の環境へ配慮した行動も習慣へとなって参りました。適正な目標設定をすることで取組みの成果を感じやすくなりモチベーションの維持に繋がったと考えています。年々気温が上昇し成果に繋がらない事も考えられますが、その時々状況に合わせた上で、経営への寄与も念頭におき環境経営方針に基づいた、当社の事業活動全体において、環境に配慮した行動に努めていく所存です。

■ 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標

目標・活動項目(単位)	R4 年度 基準値	R5 年度	R6 年度	R7 年度
1.電気使用量の削減 (kWh)	12,646	12,583 0.5%削減	12,520 1.0%削減	12,456 1.5%削減
2..軽油使用量の削減 (L)	63,765	63,446 0.5%削減	63,127 1.0%削減	62,809 1.5%削減
3.建設廃棄物のリサイクル率 向上	98.5	98.5 以上	98.5 以上	98.5 以上
4.水使用量の削減 (m3)	91			86.45 0.5%削減
5.低騒音・低振動型工事 機械使用率(%)	82	82 以上	82 以上	82 以上
6.環境保全活動の実施 ①教育訓練の実施(回) ②安全パトロール(回)	12 12	6 以上 12 以上	6 以上 12 以上	6 以上 12 以上

※水使用量の基準値は令和 6 年度の実績値を使用

環境経営計画は当年度の環境経営計画を継続する。

8.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に関する環境関連法規制の遵守状況を担当者が定期的に確認しておりますが、今まで違反や訴訟はありません。また関係当局からの違反等の指摘は今までありません。

又、地域住民から苦情やクレームなどはありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、現場巡回や定例会議時などで確認しております。

、主な環境関連法規	遵守状況の評価
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
オフロード法	○
フロン排出抑制法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
消防法	○

9.代表者による全体評価と見直しの結果

年々気温の上昇で最高気温を更新し、暑さが厳しい時期が長くなり空調機の使用が増えております。

また、冬季も寒さが厳しくなる時期が多くありました。全社員が、使わない時の消灯や事務所内の温度管理等をこまめに気を付けてやっている成果が出ていると思います。

船が稼働したことにより軽油の使用量が増加したが削減出来ている。建設現場では施工内容により状況が変化しますが、今後も無駄のない燃料費削減、排気ガスの削減に取り組んでまいります。